

令和 6 年 9 月 20 日

保護者 様

富士市立広見小学校
校長 田中 尚志

令和 6 年度 前期 学校アンケートの集約結果について

平素より本校の教育活動に御理解、御協力をいただき、ありがとうございます。

さて、7月に広見小学校の教育に関わるアンケートを実施したところ、多くの御回答並びに御意見をいただきました。皆様の本校教育に対する関心の高さと御協力に深く感謝申し上げます。つきましては、アンケートの集約結果を配付させていただきますので、御一読ください。

〈よいあわれ〉「思う」と「少し思う」の合計%、下段の（ ）は前年度前期の結果、小数点以下は四捨五入

	児童	保護者	教師
「おはよう」「さようなら」「ありがとう」などの挨拶ができる。	96% (95%)	92% (91%)	81% (96%)
目標をもって、最後まであきらめずに努力している。	94% (93%)	87% (87%)	100% (100%)
友達と協力して生活している。	95% (94%)	95% (96%)	100% (100%)
先生は、話を聞いてくれる。	99% (97%)	98% (97%)	100% (96%)
学校で学ぶことが楽しい。	93% (92%)	95% (94%)	100% (100%)
ICT 機器、パソコン、タブレットなどを活用すると、授業が分かりやすくなる。	92% (96%)	93% (91%)	97% (100%)

- 『おはよう』『さようなら』『ありがとう』などの挨拶ができる。」では、高い数値となっています。児童会でも挨拶を広げたいと考え、挨拶運動を計画しています。私たちも、更に挨拶が広まるよう支援していきます。
- 「目標をもって、最後まであきらめずに努力している。」では、児童、教師の数値が高いです。友達と励まし合いながら、目標に向かって粘り強く取り組む姿が増えています。
- 「友達と協力して生活している。」では、高い数値となっています。様々な場面で、友達に声を掛けて手助けしたり、一人では達成できないことを友達と協力して取り組んだりする姿が見られます。
- 「先生は、話を聞いてくれる。」では、児童や保護者の数値が高いことを嬉しく思います。教師のアンケートには、「もっと余裕をもってしっかり聴きたい。」という声もあります。今後も児童や保護者の声に耳を傾け、児童が安心して学校生活を送れるように務めていきます。
- 「学校で学ぶことが楽しい。」では、児童のアンケートの中に、「授業が楽しい。」「授業が分かりやすい。」「授業を頑張っている。」などの感想がありました。今後も、児童にとって楽しく分かりやすい授業を目指していきます。
- 「ICT 機器、パソコン、タブレットなどを活用すると、授業が分かりやすくなる。」では、数値は多少減少していますが、多くの児童が ICT を活用するよさを感じています。今では、いつでも ICT を活用するというのではなく、学習場面によって選んで使いこなしていけるような、児童主体の ICT 活用を目指しています。

〈改訂したいあわれ〉 「思う」と「少し思う」の合計%、下段の（ ）は前年度前期の結果、小数点以下は四捨五入

	児童	保護者	教師
正しい言葉づかい、ふわふわ言葉で話している。	92% (90%)	75% (77%)	65% (82%)
よい悪いの判断ができています。	91% (89%)	88% (90%)	50% (47%)
決まった時間、家庭学習、宿題や自主勉強に取り組んでいる。	85% (81%)	79% (80%)	91% (93%)
自分から進んで読書をしている。	80% (82%)	51% (49%)	94% (82%)

- 「正しい言葉づかい、ふわふわ言葉で話している。」では、児童の高い数値に対して、保護者と教師の数値が低い結果になっています。児童と周囲の大人とで意識に違いがあります。大人の前では言葉遣いに気を付けている児童が多く、子供同士のやり取り（SNSを含む）の中でちくちく言葉が多く見られます。ちくちく言葉で心を痛める児童がいないよう、学校と家庭とで連携して改善していきたいです。
- 「よい悪いの判断ができています。」では、昨年度から引き続き、教師の数値が大変低いです。よく考えればよいか悪いか分かるにも関わらず、衝動的に行動したりふざけたりしてしまい、トラブルになることがあります。特に、登下校中や放課後など、学校を離れ、大人の目の届かないところでのトラブルが多いです。児童が規範意識を高め、見通しをもって行動できるよう、引き続き指導していきます。
- 「決まった時間、家庭学習、宿題や自主勉強に取り組んでいる。」では、児童は宿題に取り組む習慣が身に付いています。しかし、学力の定着につながらない取り組み方をしている児童もおり、主体的に学ぶ力が不足していると感じています。児童が目的意識をもって家庭学習に取り組めるよう、御家庭でも御支援をお願いします。
- 「自分から進んで読書をしている。」では、保護者の数値が大変低いです。学校では本に親しむ時間が確保されていますが、自宅を進んで読書をする児童が少ないようです。習い事などで忙しい児童もいると思いますが、長時間 SNS やゲームを楽しむ児童も多いようです。読書を推奨するだけでなく、心身の健康のためにメディアコントロール（メディアの適切な使い方）も呼び掛けていきます。

本校教育をより良いものしていくための御意見や御提案をたくさんいただきました。多かつた御意見及び学校の対応についてお知らせいたします。

〈運動会について〉

- 「一斉開催でよかった。」という御意見や、「分散開催の方が参加しやすい。」という御意見をいただいています。その他に、実施時期や内容についての御意見もいただいています。いただいた御意見を参考に、児童の健康面を考慮しながら、教職員で検討していきます。

〈タブレットについて〉

- 「タブレットの持ち帰りが毎日だと重い。」という御意見をいただきました。家庭学習でもタブレットを効果的に活用している児童が増えていますので、御自宅でもタブレットを活用してほしいと願っています。また、タブレットに情報を配信したり、急遽オンラインによる対応をしたりすることも考えられます。しかし、発達段階や御家庭での事情も様々だと思しますので、持ち帰りに負担を感じているお子さんは、担任に御相談ください。

〈マチコミについて〉

- 「マチコミの内容が丁寧で、学校の考えがよく分かる。」という御意見や、「要点をまとめた簡潔な配信の方がよい。」という御意見、「日中のマチコミメールは勤務中の人も多いため、休校や下校時刻変更などの緊急性の高いものを配信し、緊急性の低い物は放課後以降等にもしてもらえると助かる。」という御意見をいただきました。今後、状況に応じて情報を発信させていただきます。
- 「お便りをホームページやマチコミでも見たい。」、「特別な持ち物や日課は、マチコミでもお知らせしてほしい。」という御意見もいただきました。学校のホームページには学校便りを掲載し、マチコミには学年便りを配信します。また、行事の案内や弁当の日、校納金振替日なども、お便りだけでなく、マチコミメールにてお知らせしますので、御確認ください。

アンケートへの御協力をありがとうございました。いただいた御意見を参考にしながら教育活動を行ってまいります。今後も、学校への御理解と御協力をお願いいたします。